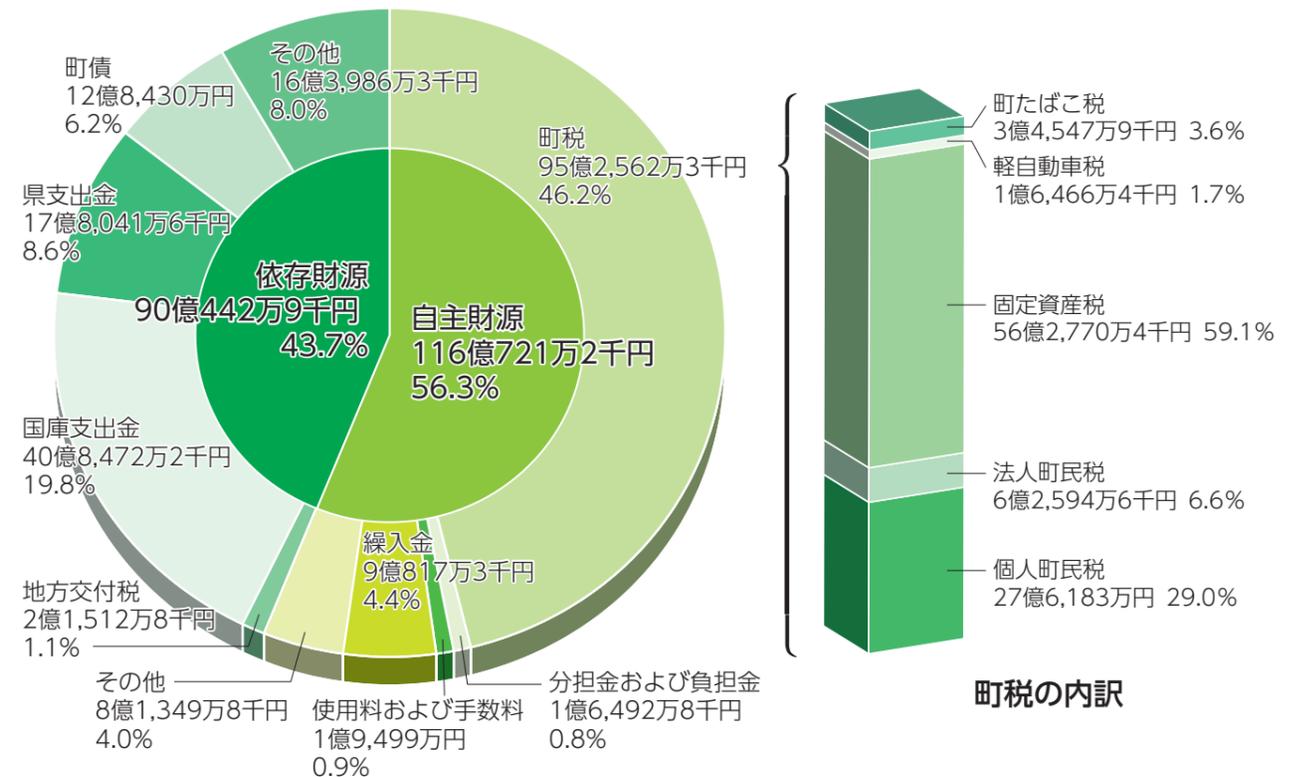
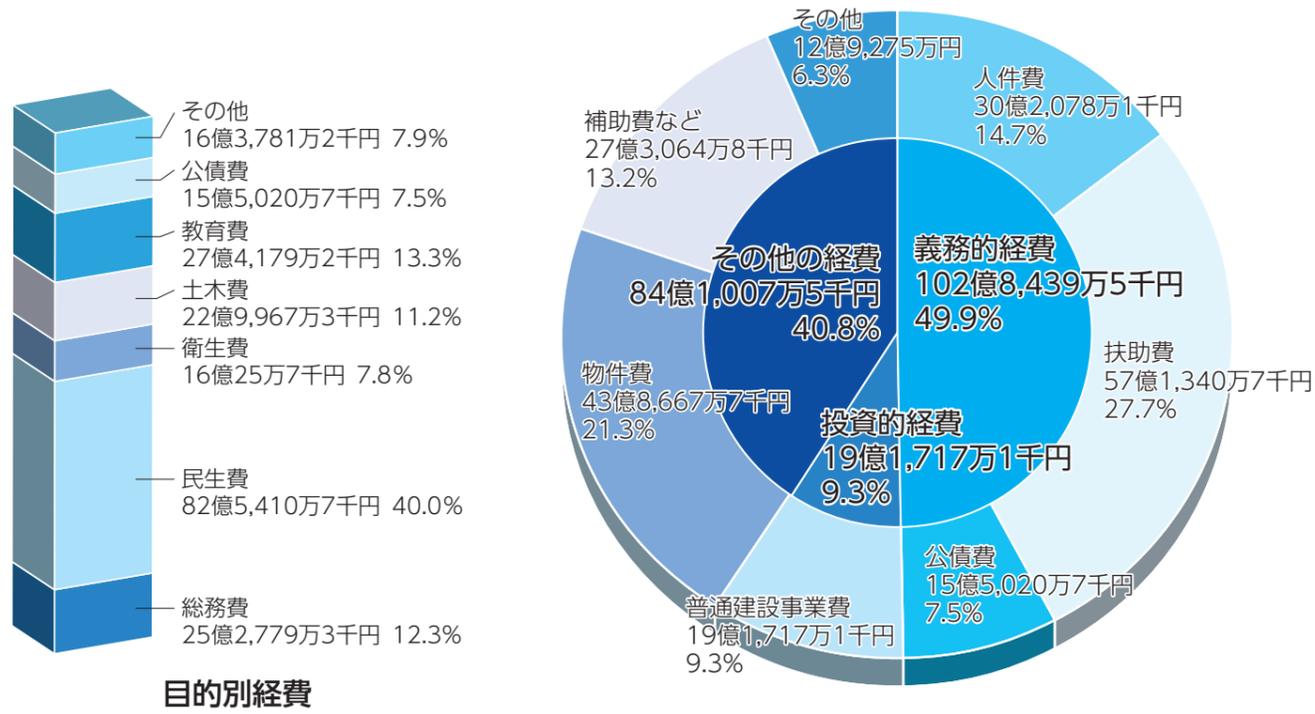


予算

令和7年度

一般会計 歳出 206億1,164万1千円

一般会計 歳入 206億1,164万1千円



◆ **目的別経費**
 歳出合計に占める割合は、民生費が一番高く、40・0%を占めています。増減額の大きなものでは、民生費、土木費、総務費などが増額となり、教育費などが減額となっています。

◆ **性質別経費**
 人件費や扶助費など義務的経費は、102億8,439万5千円(前年度比8億8,610万6千円増)を計上しました。投資的経費は、19億1,717万1千円(前年度比10億5,762万7千円減)を計上しました。物件費、補助費など、繰出金などのその他の経費は、84億1,007万5千円(前年度比13億3,412万円増)を計上しました。

◆ **普通交付税**
 町税の増加見込みにより、地方交付税のうち普通交付税は不交付となる見込みです。

◆ **依存財源**
 歳入全体の43・7%となる依存財源は、90億442万9千円(前年度比3,104万1千円減)と見込みました。各種交付金は、地方消費税交付金などの増により増加する見込みです。また、町債は、前年度から7億3,420万円減の12億8,430万円を借り入れる予定です。

◆ **自主財源**
 歳入全体の56・3%となる自主財源は、116億721万2千円(前年度比11億9,364万円増)と見込みました。町税は個人町民税や固定資産税の増加により95億2,594万3千円(前年度比16億6,333万6千円増)と見込みました。

用語の説明

- **自主財源** 町が自主的に調達できる財源。自主財源が多いほど町の行政活動の自主性と安定性が高い。町税や財産収入など。
- **依存財源** 町が他の支援などにより調達する財源。国や県から交付される補助金や町債など。
- **義務的経費** 支出が義務付けられていて、任意に減らせないお金(人件費、扶助費、公債費)。
- **投資的経費** 施設や道路など将来に残るものを造るために支出されるお金。

特別会計 予算

特別会計	予算額(対前年度比)
土地取得特別会計	39万6千円 (90.4%増)
国民健康保険特別会計	33億4,711万1千円 (0.2%減)
介護保険特別会計	30億2,107万7千円 (0.7%減)
後期高齢者医療特別会計	6億3,013万9千円 (0.3%増)

下水道事業会計 予算

収益的収支		資本的収支	
事業収益	18億3,245万3千円	資本的収入	7億214万9千円
事業費用	16億3,937万8千円	資本的支出	9億3,372万1千円

※資本的収支の不足額は、損益勘定留保資金(収益的収支の事業費用のうち現金の支出を必要としない減価償却費などの費用)などで補填します。

令和7年度当初予算 (対前年度比)

一般会計	206億1,164万1千円 (6.0%増)
特別会計	69億9,872万3千円 (0.4%減)
下水道事業会計	25億7,309万9千円 (4.8%増)
総額	301億8,346万3千円 (4.3%増)

※下水道事業会計においては、収益的支出(事業費用)と資本的支出の合計金額を表しています。

町民の生活を豊かにする施策#02

高齢者が健康で安心・充実した生活を送るための施策



高齢者世帯への防災行政無線戸別受信機無償貸与、家族介護用品助成事業拡大、多世代交流事業、さんふれあ温泉無料入浴、健康長寿プロジェクト(TSMC慈善財団・熊本大学連携)、買物支援事業の拡大 など ▶9千万円

さまざまな高齢者支援を展開し、高齢者が住んで良かったと思える菊陽町を目指します。

生涯学習の推進

東部町民センター改修設計、西部町民センター大規模改修 ▶2億5千万円
アーバンスポーツ施設などの令和8年4月開設に向けたイベント開催 ▶3千万円

新しい施設が町の新たな観光・にぎわいの拠点となるよう、アーバンスポーツの機運醸成に向けて、県とも連携しながら進めていきます。

合併70周年記念事業

記念式典、各種イベント連携 など

合併70周年が町として盛り上がっていくよう、各種イベントを進めていきます。

#03 町民の安全・安心に対する施策

消防団活動・地域防災力強化

消防団作業服配布(1年前倒し配布)、活動用Tシャツ配布、防火水槽設置工事、消防施設整備費補助 など ▶1億円

町民の安全・安心につながる施策もしっかりと強化します。

地下水涵養および浸水被害防止

新町井手調整池用地購入 ▶5千万円
水田湛水事業、水稻作付けの維持・拡大

町民の皆さんが安心できるよう、さまざまな地下水保全対策および災害防止対策に取り組んでいきます。

町民サービスの向上や業務の効率化に向けた施策#04

行政事務のデジタル化

アナログ規制の点検・見直し、母子手帳アプリ、入札参加資格申請システム、国のシステム標準化対応 など ▶2億2千万円

町民サービス向上

帯状疱疹ワクチン接種助成、証明書コンビニ交付支援 など

今後も町民サービスの向上につながる事業を積極的に実施していきます。

生活環境改善

地区道路・公園維持管理強化(地区要望対応) ▶1億5千万円
中代団地改修 ▶2億6千万円

今後も、地域の状況や要望などに対して、町ができることにしっかりと取り組んでいきます。

町長から町民の皆さまへ

4つの重点施策

令和7年度予算



菊陽町長 吉本 孝寿

令和7年度の一般会計予算総額は、当初予算の規模として初めて200億円を超え、過去最高の予算額となりました。企業の進出などによる税収増を見込んでおり、この効果を町民の皆さまに実感していただけるよう、町のスローガンである「成長しつづける町。」として、住み心地が良く、発展が続くまちづくりを目指して、事業に取り組んでまいります。

「町民の生活を豊かにする施策」、「町民の安全・安心に対する施策」、「町民サービスの向上や業務の効率化に向けた施策」の4つを重点施策と位置づけました。町の最重要課題の一つである交通渋滞対策や、これからの新しい時代の菊陽町を担う子どもたちに関する子育て政策だけでなく、これまでの菊陽町を支えていただいた高齢者の皆さまに「住んで良かった」と思っていただけける菊陽町を実現していきます。現在、菊陽町は、大きな環境変化の中にあり、非常に多くの事業が急速に進んでいる状況です。これからの菊陽町が、さらに発展していくよう、町民の皆さまとともに、引き続き、さまざまな施策を考え、つづける町に向けた施策」をまいります。

#01 成長しつづける町に向けた施策

「政策提言集」に係る事業



学校給食費、保育所・幼稚園副食費無償化 ▶3億6千万円

久保田台地まちづくり構想、地区公民館災害用ポータブル蓄電池配布 など

政策提言集に掲げた事業を着実に実施していきます。

教育・保育施設の整備

武蔵ヶ丘北小学校大規模改修、菊陽北小学校・菊陽中学校教室不足対応、小学校LED化、武蔵ヶ丘中学校体育館断熱改修 ▶5億6千万円
なかよし園建替基本設計 など

良好な教育・保育環境の整備を進めていきます。

交通渋滞対策



道路整備(国補助に係る令和6年度前倒し補正(令和7年度実施)分含む) ▶22億9千万円

セミコン通勤バス(セミコン周辺企業従業員の5%が利用) など

国・県と連携して異次元のスピードと規模で交通渋滞対策を進めます。

将来像を見据えたまちづくり

(仮称)原水駅周辺土地区画整理事業、将来ビジョン具体化検討、JR新駅整備 ▶2億5千万円

今後、町が成長しつづけるよう、計画的に実施していきます。